

【静岡県】浜松医科大学泌尿器科



浜松医科大学について

浜松医科大学は静岡県浜松市に位置しており、周囲に緑が多く豊かな自然に恵まれており、都会の喧騒を離れて修学するには理想的な環境にあります。1974年に開学して以降、今では数少ない医科単科大学の一つとして、順調な発展を遂げています。2022年現在、医学部附属病院は、613床で404名の医師を含む1731名の職員が勤務し、年間の手術件数は7538件、救急車受け入れ数は4168台、1日当たりの平均外来および入院患者数は、それぞれ1492人および484人と、地域の最終医療機関として日々最新の治療を安全に提供することに努めています。

浜松医科大学泌尿器科について

浜松医科大学泌尿器科は、1977年に初代阿曾佳郎教授の下で創設され、2017年より三宅秀明が第5代教授に就任し現在に至っています。開講以来、当科では悪性腫瘍、排尿障害、腎移植およびアンドロロジー領域を中心に、活発に研究、診療活動を行って来ており、その伝統は現在も脈々と受け継がれています。三宅教授の就任以降、特にロボット支援手術および進行癌に対する先進的な薬物治療への取り組みを重視し、国際的にも高く評価される多くの業績を挙げています。

これらの中から幾つかのトピックスを紹介しますと、まずロボット支援手術は年間約130例に実施し、特に腎部分切除術は年間約60例に施行しており、国内でも有数の症例数です。また、2022年に保険収載されたロボット支援下の腎摘除術、尿管摘除術、副腎摘除術には保険収載前から積極的に取り組み、中でもロボット支援腎摘除術の症例数は本邦で最多であり、下大静脈腫瘍塞栓を有する腎癌に対するロボット支援腎摘除術は、当科が国内第一例目を施行しました。これらの実績が評価され、今年度より先進ロボット手術開発学講座が浜松市からの寄附講座として発足し、当科におけるロボット支援手術のさらなる充実に向けて、より強固な体制が整いました。また、2022年4月より、国産手術支援ロボットであるhinotoriを導入し、12月末の時点で90例以上にhinotoriを使用したロボット支援手術を施行し、その中で腎部分切除術は37例に実施し、国内最多の件数です。

進行癌に対する薬物療法の領域では、前立腺癌、腎癌を中心に常に先進的治療をいち早く採り入れるだけでなく、それらの成績を論文として発信することにより、本邦のリアルワールドにおける至適治療戦略の構築およびその普及に中心的役割を果たしています。さらに、企業あるいは医師主導の別を問わず、多くの臨床試験に参加し、本領域におけるエビデンスの創設にも大きく貢献しており、実際それらの試験における登録症例数は全国的に見ても常に上位を占めています。

臨床研修について

浜松泌尿器専門研修プログラムは、浜松医科大学医学部附属病院を基幹施設として、その他に浜松医療センター、聖隷三方原病

院、遠州病院、磐田市立総合病院、中東遠総合医療センター、藤枝市立総合病院等を拠点病院としており、いずれの施設でも最新の医療機器を有し、豊富な症例に恵まれ、充実した研修生活を送れるものと考えています。本プログラムでは、例年5人前後の前途有望な泌尿器科医が研修を行っており、同世代の仲間と和気あいあいとした雰囲気の中で切磋琢磨しながら実力を蓄えて、立派な専門医として巣立っています。また、希望があれば大学院への進学、さらには海外留学等を選択することも可能であり、進路の希望については柔軟に対応しています。是非、本稿を読んで下さった皆さんも、我々と共に学び、泌尿器科の真髄を修め、大きな目標を持って邁進し、泌尿器科の未来をリードするような仕事をして行きませんか。なお、質問や見学は随時受け付けていますので、興味があれば下記にご連絡下さい。

連絡先

浜松医科大学泌尿器科

〒431-3192 浜松市東区半田山1-20-1

TEL : 053-435-2306 FAX : 053-435-2305

E-mail : urology@hama-med.ac.jp



浜松医科大学全景



当科におけるhinotoriを使用したロボット支援腎部分切除術